

密封小線源治療における吸収線量の標準計測法 (小線源標準計測法18) 発行のお知らせ

この度、日本医学物理学会では「密封小線源治療における吸収線量の標準計測法（小線源標準計測法18）」を発行することになりました。本書は、密封小線源核種の特性や国内の密封小線源の線量標準とトレーサビリティ、線源強度計測法と吸収線量率計算、及び密封小線源治療における品質保証と事故防止対策などが掲載されています。密封小線源治療の標準化に向けた指針として多くの方々に参考にしていただけると幸いです。



密封小線源治療における吸収線量の標準計測法
(小線源標準計測法18) 日本医学物理学会編
定価 3,500円(税別)「送料無料！(沖縄・島嶼を除く)」

注文予約先 通商産業研究社
TEL 03-3401-6370
FAX 03-3401-6320

本書の目次

- 第1章 密封小線源の特性
- 第2章 密封小線源線量標準とトレーサビリティ
- 第3章 線源強度計測法
- 第4章 密封小線源治療における吸収線量の計算式

- 付録1 小線源治療における不確かさの評価
- 付録2 密封小線源治療の線量計算に関する歴史的経緯
- 付録3 線量計算パラメータ詳細
- 付録4 モデルベース型線量計算アルゴリズムによる線量計算

- 付録5 IGBT・3次元治療計画
- 付録6 ¹²⁵I線源強度の代替測定法
- 付録7 放射線防護に係る測定
- 付録8 密封小線源治療装置
- 付録9 品質保証/品質管理(QA/QC)
- 付録10 事故防止とトラブル対応
- 付録11 緊急時対応訓練
- 付録12 高線量率(HDR)密封小線源計測の現状と課題